

正月行事・民俗芸能

伝統息づく— 今に伝わる民俗芸能を披露

1月10日、東通村体育館において「第57回 東通村郷土芸能保存連合会発表会」が開催されました。

発表会では、村内12団体と特別参加である東通村連合婦人会3団体が、東通村に脈々と受け継がれてきた民俗芸能を披露しました。莊厳な囃子が響く中、舞手の一挙手一投足に来場者は静かに見入り、会場は、伝統が今に息づく厳かなひとときを包みました。

各地区の正月行事 門打ち

だんだん近づく囃子の音に
心が先に踊りだす



鹿橋地区

正月の三が日を中心に、村内の各地区で門打ちが行われました。青年会等の継承団体が、獅子頭・権現様を奉じて家々を回り、家内安全や悪魔退散を祈祷しました。

門打ち衆は「風邪を引かないようにね」等と家主に声をかけ、祈祷しました。

苗どり



砂子又地区

田植え餅つき踊り



小田野沢地区

ごめんください。

春のはじめに苗を取りにきました。
苗を取~りましょ。取~りましょ♪

けっこうな15日でござります。
トド様・カガ様、祝ってけさまい。
つけたか、つけたか、こらさのさ♪

苗どりや田植えもちつき踊りは、家々を回って一年の豊作を願う小正月行事です。

砂子又では子どもたちが苗どりの歌を披露し、大利・老部・小田野沢では、地区の女性たちが田植えもちつき踊りを艶やかに舞い、豊作を祈願しました。

じえんこまき



上田代地区

牛は生業 共に生きる命へ祈願を

上田代で、2年ぶりにじえんこまきが開催され、地域の方で大賑わいでした。

じえんこまきは、牛馬の神様である蒼前様に畜産牛の健康や家内安全を祈願し、神棚に備えた小銭を家の前等で撒く小正月の伝統行事です。

本ページは、広報ひがしどりに寄せいただいた情報をお借りして、各地区の正月行事を紹介しました。 東通村郷土芸能保存連合会発表会の様子や各集落の正月行事を紹介しました。 情報提供および取材にご協力いただいた皆様ありがとうございました。